



株式会社東京機械製作所

証券コード：6335

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第167期中間報告書（2023年4月1日から2023年9月30日まで）をお届けいたします。



2023年12月

代表取締役社長 都並 清史

## 営業の概況

	当第2四半期累計	前年同期比	前第2四半期累計
売上高	4,425百万円	19.3%	3,709百万円
営業利益	323百万円	—	△4百万円
経常利益	346百万円	42.2%	243百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	△233百万円	—	146百万円

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の活発化などにより、景気は緩やかに回復しております。世界経済においても長期化しているウクライナ情勢や金融引き締め、中国経済の先行きなど、景気の下振れ懸念があるものの緩やかな持ち直しが続いております。

当社グループが事業を展開する新聞業界は、インターネットの普及などにより需要が減少し続けており、販売部数の落ち込みや広告収入の減少に歯止めがかからない状況が続いております。そのため、新聞社の設備投資に対する慎重な姿勢が変わらず、当社にとっては厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、2023年3月期から2027年3月期までの5年間を対象とした「TKSグループ中期経営計画」にもとづき、輪転機事業、新規事業、そし

てそれらを支えるICTプラットフォーム事業の3つに事業を再構築し、構造改革を推進しております。

新規事業では、FA事業として、当社と連結子会社株式会社KKSにおいてAGV（無人搬送車）を製造販売しており、当第2四半期連結累計期間においては、生産中であったAGV「V1000-JAS」を株式会社アイセロ（機能性フィルムメーカー）様へ納入いたしました。加工組立事業においても、受注状況は堅調であり利益に貢献しております。

輪転機事業では、当第2四半期連結累計期間においては、複数の新聞社から受注済みの「カラートップ・エコワイドIIオフセット輪転機」を生産中であります。そのほか、新たなコンセプトによる輪転機設計の見直しなどにも取り組んでおります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

## 通期の見通し

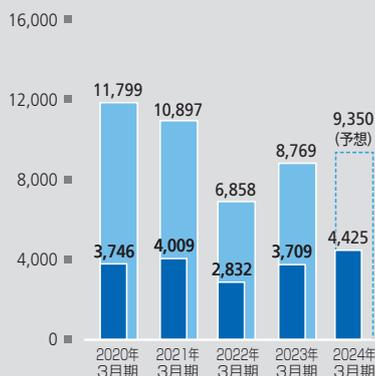
	当期予想	前期比	前期実績
売上高	9,350百万円	6.6%	8,769百万円
営業利益	360百万円	△46.8%	676百万円
経常利益	390百万円	△52.6%	824百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△220百万円	—	558百万円

## 財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 期末

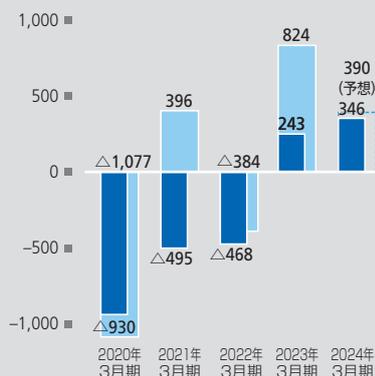
### 売上高

（単位：百万円）



### 経常利益

（単位：百万円）



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

（単位：百万円）



## TOPICS 1

### カラートップ・エコワイドⅡ、北國新聞社様白山印刷センターで稼働開始



▲ 北國新聞社様白山印刷センター

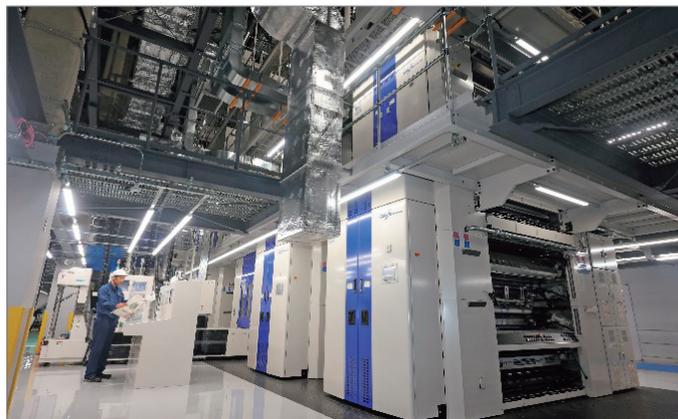
白山印刷センターは、北國新聞創刊130年、富山新聞創刊100年に合わせ建設された新しい印刷工場で、大規模災害に備え、震度6強の揺れを想定した耐震構造を採用しています。

当社は、今後もお客様のニーズに応え、新聞発行という公共性の高いインフラを支え続けるために、先進的な技術を提供し続けて参ります。

北國新聞社様より受注いたしました白山印刷センター納入の「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転機2セットが、2023年8月に全面稼働を開始しました。

「カラートップ・エコワイドⅡ」は、環境に配慮した省電力・省資源を実現するために設計されたコンパクト輪転機です。今回、ご購入いただいた輪転機は、最大48ページ（40ページカラー対応）の新聞印刷が可能な機械構成となっており、さらに、オプションとして、AI（人工知能）を搭載した最新鋭機となっています。

▼ ご導入いただいたカラートップ・エコワイドⅡ



## TOPICS 2

### FA事業の展開について



▲ V1000-JST (シャッター搭載型)



▲ V1000-J (エレベーター乗り入れ可能)

当社グループは、AGV (Automated Guided Vehicle) をはじめとしたFA事業を展開しております。当社グループ製のAGVは、雨の日でも屋外走行が可能であり、15mmの直角段差や6%の勾配でもスムーズに走行できます。最大積載能力は1トンとなっており、これらを最大の強みとしています。また、新聞輪転機事業で培ったカスタマイズ力により、量産型AGVでは対応が難しいお客様の多様なニーズにお応えします。

具体的な事例として、味覚糖株式会社様からのご要望に応えるために開発した「シャッター搭載型AGV」を紹介いたします。このAGVはシャッター機能により、食品というデリケートな製品を雨や夏季の直射日光から保護し、製品の品質維持に大きく貢献しています。さらに、製品の積み上げ・積み下ろし、場内搬送、シャッターの開閉、コンベヤ設備との自動連携など、あらゆる作業を自動化し、現場の効率化に寄与しています。

もう一つの導入事例として、某設備メーカー様で稼働中のAGVは、エレベーターと連携し、異なるフロア間の製品搬送を実現しています。製造工程においてAGVがエレベーターと連携し、すべて無人で異なるフロアの間をスムーズに往来できます。エレベーターへの乗り入れや搬出時の段差にも対応しています。

当社グループは、FA事業を新たな収益の柱と位置づけ、今後3年間で売上高10億円を目標として掲げております。

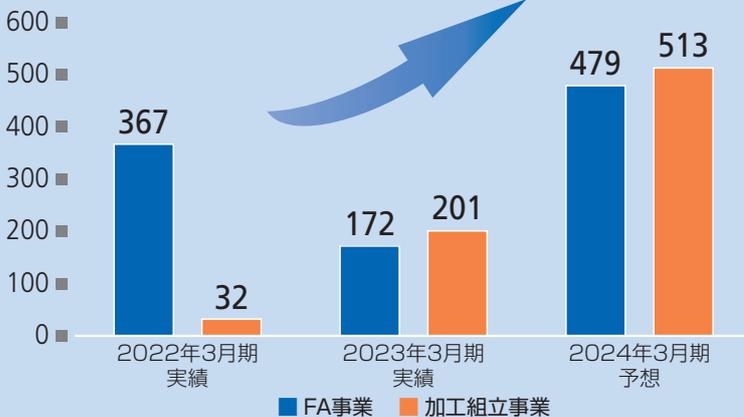
## 好調な新規事業（FA・加工組立）の売上推移

加工組立事業とは

100年を超える輪転機製造技術を活かし、万能機械メーカーとしてOEM生産を行っています。EV用電池製造装置など、顧客から高く評価される製品を提供しています。

2022年3月期～2024年3月期

売上高（百万円）

事業立ち上げ以来  
好調に推移2024年3月期  
過去最高の売上高  
達成見込み

## 連結財務諸表（要旨）

## 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期末 (2023年9月30日現在)	前期末 (2023年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産		11,340	11,540
固定資産		3,348	3,387
有形固定資産		2,836	2,867
無形固定資産		8	9
投資その他の資産		503	510
資産合計		14,688	14,927
<b>負債の部</b>			
流動負債		3,190	3,623
固定負債		2,734	2,776
負債合計		5,925	6,400
<b>純資産の部</b>			
株主資本		7,804	8,038
資本金		4,435	4,435
資本剰余金		1,335	1,335
利益剰余金		2,037	2,271
自己株式		△ 4	△ 3
その他の包括利益累計額		△ 58	△ 503
非支配株主持分		1,016	992
純資産合計		8,762	8,527
負債・純資産合計		14,688	14,927

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高		4,425	3,709
売上原価		3,508	3,126
売上総利益		917	583
販売費及び一般管理費		593	588
営業利益又は営業損失(△)		323	△ 4
営業外収益		25	258
営業外費用		1	10
経常利益		346	243
特別利益		3	4
特別損失		476	60
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)		△ 125	187
法人税、住民税及び事業税		73	46
法人税等調整額		8	△ 0
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△ 207	142
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)		25	△ 4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)		△ 233	146

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		187	3,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 8	△ 20
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 8	△ 1,463
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		171	1,886
現金及び現金同等物期首残高		6,241	2,269
現金及び現金同等物四半期末残高		6,413	4,156

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

## 会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	株式会社東京機械製作所
創業	1874(明治7)年
設立	1916(大正5)年2月15日
資本金	44億3,500万円
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
従業員数	169名(連結290名)
本社	〒108-8375 東京都港区三田三丁目11番36号三田日東ダイビル6階 電話：03(3451)8141(代表)
かずさテクノセンター	〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足一丁目6番 電話：0438(20)5551(代表)
サービスセンター	中部、西日本

## 役員 (2023年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	都 並	清 史
	取締役	上 等	吉 則
	取締役	中 野	実
	取締役	米 本	裕 至
	取締役	安 中	正 弘
	取締役	南 部	實
監査役	常勤監査役	神 崎	幸 雄
	常勤監査役	戸 山	幹 夫
	監査役	大 山	敬 三

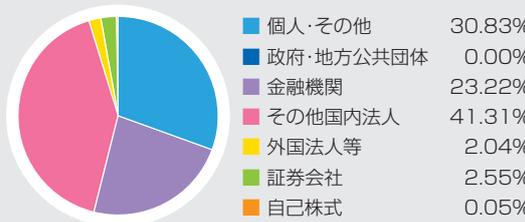
## 株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	8,728,920株 (自己株式4,631株を含む)
株主数	5,462名(前期末比60名減)
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社読売新聞東京本社	2,182	25.01
アジアインベストメントファンド株式会社	649	7.44
損害保険ジャパン株式会社	500	5.73
株式会社三井住友銀行	423	4.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	347	3.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	253	2.90
株式会社中日新聞社	229	2.62
株式会社みずほ銀行	212	2.43
株式会社朝日新聞社	174	2.00
住友生命保険相互会社	138	1.58

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



### 所有株数別分布状況



## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

### 郵便物送付先・お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払 <sup>(※)</sup> 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

## 単元未満株式(1~99株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっております。単元未満株式を市場で売買することはできません。当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願い申し上げます。

なお、決算日・中間決算日、およびそれ以外の株主確定日前の一定期間については、受付停止期間となります。証券会社に口座をお持ちの場合はお取引の証券会社に、特別口座の場合は、上記のみずほ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

### 買取・買増制度の例(170株ご所有の場合)

